自己点検・自己評価総括表　　大原簿記情報医療専門学校浜松校

作成者：上乗有希
作成日：令和8年4月30日
サンプル数（評価数値の分布合計）：19

大項目	小項目	評価の基準	自己点検評価結果 3 満たしている	2 概ね満たしている	1 満たしていない
教育理念・目的・目標	1　教育理念、目的及び目標の設定等	教育理念等を踏まえ、当該専門学校としての目的及び目標を明確に設定し、養成する人材像を明確にしているか	17	2	0

（1）評価結果の分析

本項目については、「満たしている」が多数を占めており、本校における教育理念に基づいた目的・目標の設定および養成する人材像は、概ね明確に定められている。また、教職員の指導も概ね一貫しており、組織としての方向性は共有されていると評価できる。

一方で、学生への周知という観点においては改善の余地も見受けられる。特に、学生便覧について一部不明瞭な表現が見受けられ、学生にとって分かりづらい箇所があるため、より平易で具体的な内容への見直しが望まれる。

今後は、教育理念や人材像の明確さを維持するとともに、それらを学生に確実に伝達し、理解を深めるための工夫を一層推進することが期待される。

（2）今後の改善方策

学生便覧については、学生に分かりやすく具体的な表現で表記するよう改善し、理解を深めるための工夫を推進する。入学時の説明にとどまらず、進級時や各学期の節目において再確認の機会を設けるなど、継続的に理解を促す仕組みづくりを行う。加えて、ホームルームやガイダンス等を活用し、単なる説明にとどまらず具体的な事例を交えた周知を行い、学生の主体的な理解につなげる。

今後は、明確に定められている教育理念等を「いかに学生へ伝え、理解させるか」という観点を重視し、周知方法や教材の改善、運用面での工夫を継続的に図っていく。

自己点検・自己評価総括表　　大原簿記情報医療専門学校浜松校

大項目	小項目	評価の基準	自己点検評価 3 満たしている	2 概ね満たしている	1 満たしていない
教育課程、教育の実施、学修成果	1　教育課程の編成と授業科目	1. 学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な教育課程編成・実施方針を作成した上で、教育課程を体系的に編成し、系統性・段階性に配慮した授業科目を配置しているか	18	1	0
		2. 外国人留学生に対して、日本国内に就職する際に必要となる日本社会の理解の促進に資する授業科目を300 時間以上開設しているか【注）外国人留学生キャリア形成促進プログラム】	－	－	－
	2 教育の実施	1. 授業科目内容に応じ、講義、演習、実験、実習又は実技など、適切な授業形態で教育が実施され、かつ、適切な教材が用いられるとともに、成績評価基準に基づき成績評価を行っているか	14	5	0
		2. 企業等と連携した、実習、実技、実験又は演習等（以下「実習・演習等」という）の授業を行っているか教育 目標の達成に必要な企業等と連携した実習・演習等の単位 時間または単位数の総授業時数に占める割合を具体的に設定しているか【注）職業実践専門課程】	17	2	0
	3 単位・卒業認定	学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必 要な卒業認定方針（資格・免許等を含む修得させる職業能 力を含む）を学科・コースごとに定め、当該方針に基づき卒業の認定をしているか	17	2	0
	4 学修成果目標の達成状況	1. 卒業認定方針を踏まえ、学科・コースごとに職業能力を含む資質能力の修得（資格・免許等の取得や知識・技術・技能の修得含む。）についての目標を定め、その目標が達成できているか	19	0	0
		2. 学生が望む進路の実現に関する目標を定め、その目標が達成できているか	18	1	0

（1）評価結果の分析

本項目全体として、「満たしている」が大多数を占めており、教育課程の編成から教育の実施、単位・卒業認定、学修成果に至るまで、一貫した教育体制が適切に構築されていると評価できる。特に、学修成果目標の達成状況については高い評価が得られており、教育活動の成果が着実に表れている点は本校の強みである。

教育課程については、学校の目的・目標および養成する人材像に基づき、体系性・段階性を踏まえた授業科目の配置がなされており、教育の方向性は明確である。また、教育の実施においても、授業内容に応じた適切な授業形態や教材の活用、評価基準に基づく成績評価が概ね適切に運用されている。加えて、企業等と連携した実習・演習の実施により、実践的な職業教育の推進が図られている。

さらに、単位・卒業認定についても方針に基づいた適切な運用がなされており、学修成果および進路実現に関する目標についても高い達成状況が確認できるなど、教育の質は総合的に高い水準にあるといえる。

（2）今後の改善方策

「概ね満たしている」と評価された項目については、さらなる質の向上を目指す。授業の実施においては、学生の理解度に応じた指導の工夫に加え、アクティブラーニングやICT活用を推進し、主体的な学びを促進する。

企業等と連携した実習・演習については、到達目標や評価基準の明確化、振り返りの強化により、学習成果の可視化を図る必要がある。

単位・卒業認定については、基準の周知を徹底するため、ガイダンスや面談等を通じた継続的な説明を行う。

自己点検・自己評価総括表　　大原簿記情報医療専門学校浜松校

大項目	小項目	評価の基準	自己点検評価 3	2	1
			満たしている 3	概ね満たしている 2	満たしていない 1
学生の受入れ、学生支援	1 学生募集及び入学者の選抜、収容定員 の管理	1. 入学者の受け入れ方針、入学選考基準、方法を定め、入学希望者に明示し、入学者の選考を公正に行い、合否を決定しているか	16	3	0
		2. 学生の受入れは、入学定員に基づき適正に行っているか【注)修学支援新制度機関要件の確認】【注）外国人留学生キャリア形成促進プログラム】	14	5	0
	2 自主的な学習の促進に対する支援	学生の学力や学習状況を把握し、入学前教育や補習授業を 行うなど学習支援に取組んでいるか学生の円滑な学習に向け、シラバスの活用による学習成果の向上や自主的な 学習に関する適切な支援を行っているか	18	1	0
	3 多様な学生に対する支援	1. 適切な体制を構築し、障がいのある学生、海外からの留学生、社会人経験者など、多様な学生に対する支援を行っているか	12	8	0
		2. 特に海外からの留学生について適正な在籍管理、進路(就職)指導を行うとともに、日本人学生との交流の機会が確保されているか【注）外国人留学生キャリア形成促進プログラム】	−	−	−
	4 学生生活に関する支援	1. カウンセラーの配置、相談室の設置など、学生の相談に対応するための環境整備を行い、適切に運営しているか	4	16	0
		2. 留年者、退学希望者など学習の継続に困難な問題を抱える学生に対し適切な対応を行っているか	15	4	0
		3. 学校保健安全法に基づく学校保健計画を策定し、学生の心身の健康管理体制を整備し、適切に運用しているか	10	9	0
		4. 学生の経済的側面に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用しているか	17	2	0
		5. 学生のキャリア支援、就職支援に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用しているか	16	3	0

（1）評価結果の分析

本項目については、全体として「満たしている」が多数を占めており、学生募集・入学者選抜から学習支援、学生生活支援に至るまで、概ね適切に体制が整備・運用されていると評価できる。特に、自主的な学習の促進に対する支援や、経済的支援・キャリア支援については高い評価が得られており、学生の学習継続および進路実現に向けた取組が着実に機能している。

一方で、多様な学生への支援や学生生活に関する支援の一部項目において「概ね満たしている」が多く見られ、支援体制の整備は進んでいるものの、運用面や周知の面で改善の余地があると考えられる。特に、相談体制や健康管理体制については、学生が十分に活用できているかという観点での課題がうかがえる。

（2）今後の改善方策

多様な学生への支援については、支援体制のさらなる充実とともに、個々の学生に応じたきめ細かな対応を強化する。あわせて、教職員間での情報共有を進め、組織的に支援できる体制の強化を行う。

学生生活に関する支援では、相談体制や健康管理体制について、利用しやすい環境づくりと周知の徹底が必要。相談窓口の明確化や利用促進の取組により、学生が早期に支援へつながる仕組みの強化を行う。

また、入学者の受入れや定員管理については概ね適切に運用されているものの、引き続き適正な管理と情報公開の徹底を図る。

今後は、既に整備されている各種支援体制について「確実に活用される仕組みづくり」に重点を置き、運用面の質向上を図る。

自己点検・自己評価総括表　　大原簿記情報医療専門学校浜松校

大項目	小項目	評価の基準	自己点検評価 3	2	1
			満たしている 3	概ね満たしている 2	満たしていない 1
教育実施組織・教員	1 教員の配置、募集、採用	1. 教育課程を実施するのに必要な、資格・要件を備えた教員を確保するために基準等（教員の採用基準等）を整備し、適正に運用しているか	11	7	1
		2. 教員の常勤・非常勤、年齢構成等、また教員一人当たりの授業時数等を把握しているかまた、教員の専門性、教授力を把握、評価しているか	10	9	0
	2 教員の組織編制等	1. 学校の目的に応じた分野の区分ごとに必要な教員組織を整備し、業務分担、責任体制を規程等で定めているか	12	4	3
		2. 教員間で連携、協力体制を構築しているか	15	4	0
	3 教員の資質の向上	1. 学校の教育活動の改善、工夫を行う FD(Faculty Development)などの取組や、教員の研究活動、自己啓発等への支援を行っているか	9	10	0
		1-2.　特に職業実践専門課程においては、企業等と連携して組織的に行っているか【注）職業実践専門課程】	16	3	0
		2. 教員の授業及び指導力等を修得・向上するための研修を企業等と連携して、組織的に行っているか【注）職業実践専門課程】	14	5	0

（1）評価結果の分析

本項目については、「満たしている」が一定数を占めているものの、「概ね満たしている」および一部「満たしていない」の回答も見られ、教員体制の整備・運用において改善の余地があると評価される。

教員の配置・採用については、基準の整備および運用は概ね行われているものの、教職員の充足には一部課題が見受けられる。また、教員の授業負担や専門性の把握・評価についても、一定の取組みはなされているが、十分に体系化されているとは言い難い状況である。

教員組織の編制については、組織体制や責任分担の整備は進められているものの、評価結果からは体制の明確化や運用の徹底に課題があることがうかがえる。一方で、教員間の連携・協力体制については比較的良好に機能していると評価できる。

教員の資質向上に関しては、FD(ファカルティ・ディベロップメント)活動や企業連携による研修等が実施されているものの、「概ね満たしている」が多く、取組の質や参加状況にばらつきがあると考えられる。今後は、組織的かつ継続的な取組としての強化が求められる。

（2）今後の改善方策

教員の採用・配置については、採用基準や資格要件の運用状況を点検し、不足分野の人材確保を計画的に行う。あわせて、教員の授業時数や専門性、指導力について評価基準を明確化し、定期的な評価とフィードバックを行うことで、適正な配置と資質向上につなげる取組みを行う。

また、教員組織については、業務分担と責任体制の明確化および規程の周知徹底を図るとともに、組織としての機能強化を行う。FD活動については、年間計画を明確にし、全教員の参加を促進するとともに、その成果を授業改善へ反映させる取組を行う。

さらに、企業連携による研修については、実務に即した内容の充実と計画的な実施を行い、教員の実践的な指導力向上を図る。

自己点検・自己評価総括表　　大原簿記情報医療専門学校浜松校

大項目	小項目	評価の基準	自己点検評価 3	2	1
			満たしている 3	概ね満たしている 2	満たしていない 1
教育環境	1 教育環境の整備	1. 教育上の必要性に対応できる施設・設備、機械器具等を備えているか	14	4	1
		2. 学生の学習支援のための施設(自習室等)を整備しているかまた、学生の休憩、食事のためのスペースを確保しているか	15	4	0
		3. 図書室を設置し、専攻分野の教育に必要な専門書及び参考図書を配架し、必要に応じて学生が閲覧できるようにしているか	2	8	9
	2 安全対策、防災組織	1. 学校保健安全法に基づく学校安全計画を策定し、学校における安全対策を適切に行っているか	12	6	1
		2. 火災の発生や防災に関する組織体制を整備し、適切に運営しているか	14	5	0
	3 施設・設備等の点検、改善等	1. 施設・設備等の日常点検、定期点検、補修等を適切に行っているか	16	3	0
		2. 施設の改築・改修、設備の更新等の計画を定め、適切に実施しているか	16	3	0

(1)評価結果の分析

本項目については、施設・設備の整備や点検・改善に関して「満たしている」が多く、教育環境の基盤は概ね適切に整備・運用されていると評価できる。特に、施設・設備の点検や更新計画については安定的に実施されており、継続的な環境維持・改善の体制が整っている点は評価できる。

また、学生の学習支援や生活環境に関する施設整備についても一定の水準に達しており、学生が学習に取り組みやすい環境づくりが進められている。

一方で、図書室の整備・運用に関しては「満たしていない」の回答が多く、教育に必要な専門書や参考図書の充実、利用環境の整備に大きな課題が見受けられる。また、安全対策についても概ね実施されているものの、一部に改善の余地があり、より実効性の高い運用が求められる。

(2)今後の改善方策

図書室については、スペースの制約や近年の読書スタイルの変化を踏まえ、電子書籍やオンラインデータベースの導入を行う。

安全対策については、学校安全計画の内容を定期的に見直し、教職員および学生への周知徹底を行うとともに、訓練等を通じて実効性の向上を図る。

教育環境全体については、施設・設備の利用状況や学生のニーズを把握し、必要に応じた改善を継続的に行う。特に学習支援スペースについては、利用促進と機能向上を図る取組みを行う。

今後は、既存の整備状況を維持しつつ、課題の大きい分野を重点的に改善し、より質の高い教育環境の実現を図る。

自己点検・自己評価総括表　　大原簿記情報医療専門学校浜松校

大項目	小項目	評価の基準	自己点検評価 3	2	1
			満たしている 3	概ね満たしている 2	満たしていない 1
教育活動の基盤と改善・向上の取組	1 中期事業計画と財務基盤	1. 当該専修学校が策定している中長期的計画に、教育目的、教育目標の実現に向けた具体的な内容が位置付けられているか	15	4	0
		2. 当該専修学校の教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財務基盤を確立しているか	15	4	0
	2 学校運営	学校運営の組織体制を整備し、適切な運営が行われているか（職業教育に関するマネジメント（教育の企画・設計・運営等）における責任体制を含む。）。	14	5	0
	3 学校評価の実施と改善活動	1. 学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会等外部からの意見を反映するなど、関連企業等団体、地域社会等からの意見を当該専修学校の運営やその改善・向上において活用しているか	16	3	0
		1-2. 特に職業実践専門課程においては、教育課程編成委員会を年2回以上開催しているか【注）職業実践専門課程】	16	3	0
		2. 学校評価を実施し結果及び改善状況についての情報を公表しているか	19	0	0
		3. 学校評価の結果に基づく改善への取組を組織的かつ継続的に行っているか	15	4	0
	4 社会からの理解と情報の公表	1. 当該専修学校の教育活動、学修成果、学校運営等の状況に関する情報を積極的に公表しているか	17	2	0
		2. 教育目的・目標の達成状況や活動状況について関連する教育機関、産業界等をはじめ、社会全体からの理解を得るよう取組んでいるか	14	5	0

（1）評価結果の分析

本項目については、全体として「満たしている」が多数を占めており、中期事業計画の策定、財務基盤の確立、学校運営体制、学校評価および情報公開に至るまで、安定的かつ適切に運用されていると評価できる。特に、学校評価の結果および改善状況の公表については高い評価となっており、透明性の確保と説明責任が十分に果たされている点は大きな強みである。

また、外部委員会の活用や企業・地域との連携を通じて、教育内容や学校運営の改善に取り組んでいる点も評価できる。さらに、教育活動や学修成果に関する情報発信も積極的に行われており、社会からの理解を得るための取組みが進められている。

一方で、「概ね満たしている」との評価が一定数見られることから、計画の具体性や運用の精度、情報発信の質・効果といった点において、さらなる向上の余地があると考えられる。

（2）今後の改善方策

中期事業計画については、教育目標との連動性を明確にし、数値目標や達成指標を設定した上で、定期的な進捗管理を行う。財務基盤については、中長期的な収支計画の精度向上と継続的な見直しを行う。

また、学校運営については、組織体制や責任分担の明確化と意思決定プロセスの可視化を行う。学校評価については、外部意見の活用方法を明確にし、改善内容と成果を具体的に示す取組みを行う。

さらに、情報公開については、内容の分かりやすさと具体性を高め、対象に応じた情報発信を行うことで、社会からの理解促進を図る。